

力説

で討論会

子育て支援」「佐竹氏は「経済、農業、雇用政策」「医療、



知事選に立候補を予定している4氏が持論を訴えた公開討論会

福祉政策」「行財政改革」とした。川口氏は「県民所得の上昇」「安全、安心な健康社会」「税金の無駄遣いをなくし、民間の発想で景気回復を図る」、藤本氏は「雇用を守り、仕事を起こす」「医療と福祉を守る」「国の農業つぶしをやめさせ、農林業を全力で応援する」とした。

成瀬ダムの建設では佐藤氏が賛成、藤本氏が反対、佐竹氏と川口氏は今後検討した上で判断するとの立場から発言した。

佐藤氏は「羽後町長時代から、地域を災害から守る視点などから建設推進を国にも要望してきた。コスト面では縮減して、早期の完成を目指したい」と強調、藤本氏は「水田に引く水は余っており、水道水需要も減っている。何十年も前の決定を引き継いでいいのか。環境破壊も危惧され、賛成できない」と訴えた。

佐竹氏は「大きな問題であり、県負担も含めて、県民にもわかる形できっちりともう一回議論をし、その上で、最終的な県の姿勢を決める必要がある」と、川口氏は「初めに建設や中止ありきでなく、産業経済の変化、自然災害への対応能力の進化などを検討し、客観的、長期的な視点で検討したい」と述べた。